令和６年度　「志教育」全体計画

様式１

宮城県岩ヶ崎高等学校

建学の精神

尚志育英

本校の教育目標

心身の健康
清潔で健康な生活を心掛けるとともに、進んで心身を鍛え、明るく清く、どんな困難に出会ってもくじけない意志力と体力を育む。

知性の伸長
広く調和のとれた教養を身に付けさせるとともに、青年の持つ無限の可能性を引き出し、伸ばしていく。

人格の尊重
正しく自己を愛し、他をも愛する豊かな愛情を持ち続け、互いに信頼しあえる誠実で頼もしい生徒を育てる。

生徒の実態、教師の願い

〔実態〕素直で思いやりのある生徒が大半であり、教師の指導を素直に受け止め、全体的に学校生活をより良くしていこうという雰囲気がある。
〔願い〕①基礎学力を確立し、自己に対する自信を持った生徒に育ってほしい。
②激動する社会の中でも、協調性を持ちつつ社会の一員としての使命を果たせる、心身ともに健康な人間になってほしい。

保護者や地域の願い

〔実態〕生徒のほとんどが栗原市内の中学校出身者であり、ほとんどの保護者が大学進学を希望している。また、地域に根差した高校として数多くの人材を輩出している。
〔願い〕①生徒一人ひとりが学力の向上と進路目標の達成を目指してほしい。
②清々しく心身ともに健康な青年を育成してほしい。
③調和のとれた人間形成を目指しつつ、活気ある高校生活を送らせてほしい。

「志教育」の目標

●夢や希望の実現を目指し、あきらめずに忍耐強く取り組み、将来社会人として自立したのちも生涯にわたり学び続ける生徒の育成。
●他者との信頼関係を大切にし、お互いの立場を尊重しながら感謝と思いやりを持って接し、豊かな人間関係を築いていく生徒の育成。
●自ら課題を発見し、自ら学び、考え、主体的に判断しながら、学び方やものの考え方を身に付け、自己のあり方や生き方を考えることができる生徒の育成。

重点指導事項

人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
他者の価値観や個性を理解させるとともに、自己理解を深めさせる。また、集団生活を通して適切なコミュニケーションを図るようにさせる。	将来の職業や生き方について考えさせ、その具体化に向けて学習や体験活動に全力で取り組ませる。	学校や社会において自分が果たすべき役割と責任を自覚させ、それらを果たすことでの自己有用感を高めさせる。

各教育活動における取組の観点

各教科	●進路実現に必要な基礎基本の定着と学ぶ意欲の喚起 ●課題解決型学習の積極的な展開 ●安全を心がける態度の育成
道徳	●基本的な生活習慣の定着と心身の健康増進、調和のとれた生活の実現に向けた意識の醸成 ●勤労の尊さと意義の理解し、社会貢献する意識の醸成 ●目標に向かって努力する態度の育成 ●他者の立場を尊重することができ、感謝と思いやりの心が備わった精神の涵養 ●社会の法やきまりの意義を理解し、責任感を持って行動する意識の醸成
総合的な探究の時間	●教科横断的、探究的な学習活動を通して、自ら課題を発見し、自ら学び、考え、主体的に判断しながら、学び方やものの考え方を身に付け、自己のあり方、生き方を考えることができる力の育成
特別活動	●心身の調和のとれた成長と個性の伸長の促進 ●集団の一員としての役割と責任を果たす意識の醸成 ●信頼し尊重し合い、切磋琢磨する人間関係の形成 ●協力的な態度と自主的、実践的な行動力の育成
その他	●部活動への積極的な参加と活動を通した心身のバランスの取れた人格の形成 ●身だしなみを整え、マナー向上に努める態度の育成

各学年の取組内容

１年	新入生オリエンテーション（４月） 進路適性検査（５月）　夏期課外（７月） 東北大OC（７月）　スタディサポート（８・３月） 夢ナビライブ（10月）　進路講演会（１０月） 進路ガイダンス（１０・１２月） カウンセリング体験（９～１１月） 冬期課外（１２月）　進路体験発表会（１・３月） 地域連携（随時）
２年	進路ガイダンス（４・１０・１２月） ふれあい看護体験（５月）　大学出前授業（７月） 夏期課外（７月）　夏期学習会（８月） スタディサポート（８・３月） 夢ナビライブ（１０月）　冬期課外（１２月） 進路体験発表会（１・３月） 地域連携（随時）
３年	進路ガイダンス（４月）　ふれあい看護体験（５月） 総合型・学校推薦型選抜入試説明会（６月） 放課後課外（６～２月）　大学出前授業（７月） 小論文添削指導（７～３月） 夏期課外（７月）　夏期学習会（８月） グループ面接（９・１０月） 大学入学共通テスト説明会（９・１２月） 進路体験発表会（１・３月） C - Plan（小学校への高校生教育助手派遣プログラム）（２月）
全	二者面談（５・１０・１月）　三者面談（７月）

家庭との連携

●PTA活動や学校評価等を通し、学校と家庭の情報交換を図りながら、家庭学習の定着や交通安全等の基本的な生活習慣の確立を支える。

地域･企業との協働

●学校の情報のタイムリーな発信や学校公開等を通じた、開かれた学校づくり
●小学校での学習支援活動（C - Plan）
●地域連携、地域協働、ボランティア活動（くりこま夜市、各種募金活動等）